

## 桃園の三地蔵

三地蔵とは栄松寺(川方町)の石造地藏菩薩立像、宝樹寺(牧町)の石造地藏菩薩坐像、光明寺(新家町)の石造地藏菩薩立像を言い、三体にはいずれも鎌倉時代末期の正和三年八月と刻まれている。

この三体のお地藏様が作られた当時の桃園の三村は「物部神社」周辺の低地にあったことが判明しているが、その後たび重なる雲出川の水害により、三村は現在の高台に村ごと移住。その際、お地藏様も新しい地に安置されたものと思われる。

お地藏様の前に立つと、その表情の豊かさや、ふっくらとした量感がよく分かる。



(栄松寺) (宝樹寺) (光明寺)

## 物部(もののべ)神社

式内社、古代この地方を支配した物部氏の一族新家氏の氏神であった。

しかし、1742年(寛保2)、雲出川の洪水に苦しむ新家集落は北の高台に集団移住した。このとき、旧地の守り神として残した。

山辺の行宮・一志頓宮説・山辺の御井伝承地として話題の多い神社である。



## 近畿日本鉄道ホームページ

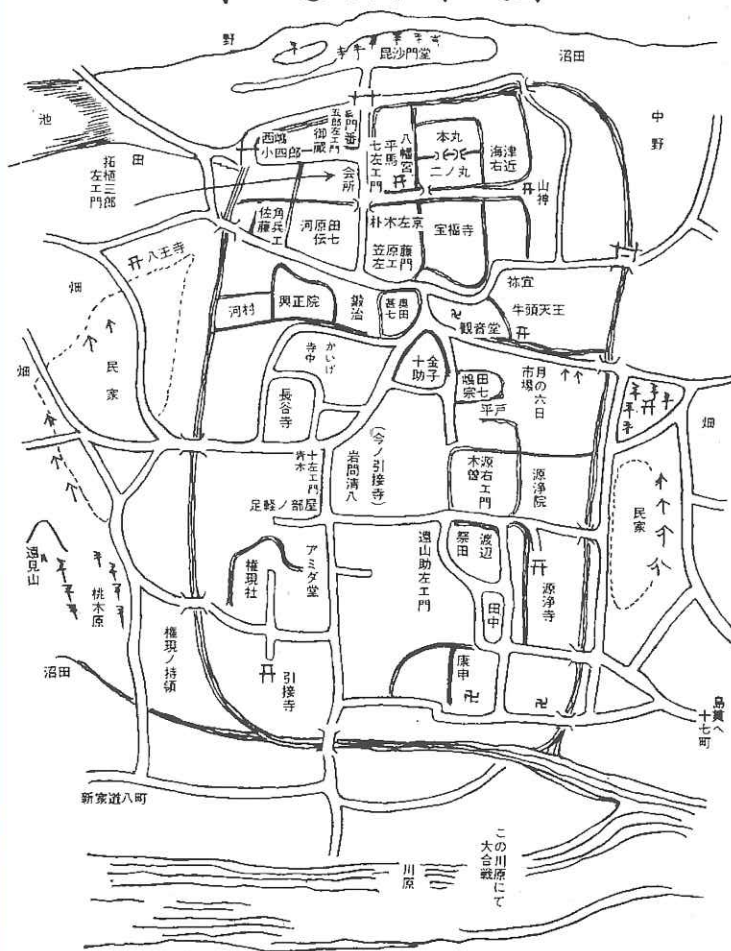


近鉄の時刻表はこちらから

桃園駅時刻表



## 木造城下図



(天正12年写) (参考:久居市史)

## 雲出井(くもずゆ)と水分(みくまり)神社

1646年(正保3)、水不足に苦しむ雲出・伊倉津地域の農民のために藤堂藩の命を受け、西嶋八兵衛は13kmも離れた上流の戸木村羽野の雲出川から雲出井を掘削し、高茶屋四ツ野で三つの水路に分け、14ヶ村600町歩の水田に水の恵みを与えた。土地の人々は八兵衛を顕彰するため、ここに水分神社を建立した。



## 発行 久居誕生350年事業実行委員会

(監修 久居城下案内人の会)

問合せ先 津市久居総合支所 地域振興課内  
住所 〒514-1192 津市久居新町 3006番地  
電話 059-255-8803 FAX 059-255-0960

令和2年 10月発行



桃園駅

# 本造氏の足跡と 久居桃園の 三地蔵めぐり

## 久居地域の名所・旧跡のガイドや紙芝居を聞いてみませんか！

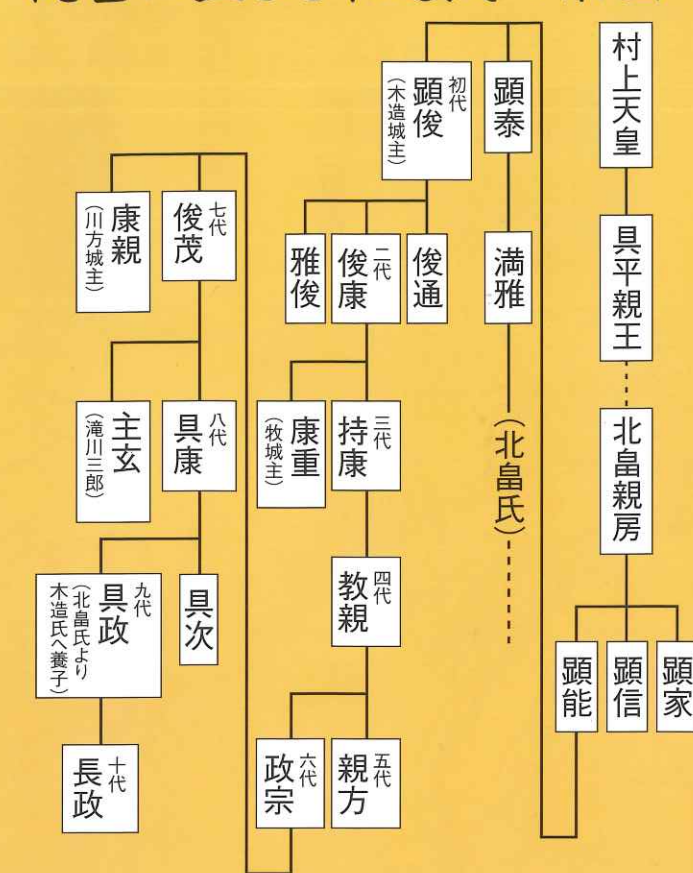
学校行事や地域行事など団体から個人までどなたでもガイドの依頼をお引き受けします。お気軽にご相談ください。

紙芝居のタイトル (令和2年4月現在)

- ・藤堂高通と久居藩
- ・西嶋八兵衛と雲出井
- ・久居焼けと立て直し
- ・小戸木物語
- ・農学博士上野英三郎の水田づくり
- ・久居の鐘馗さん
- ・久居城下のまちづくり
- ・寛政の農民一揆
- ・国友の飛行機
- ・はちこう
- ・須ヶ瀬町郷土史
- ・新家の集団移転



## 乱世に生きた木造氏の系図



| 西暦   | 元号   | 事項                                                                       |
|------|------|--------------------------------------------------------------------------|
| 1366 | 正平21 | 初代伊勢国司北畠顕能の子 顕俊が木造城を築き木造氏を名乗る。                                           |
| 1415 | 応永22 | 北朝方に近い木造氏は南朝の雄 北畠氏と対立が続く。                                                |
| 1420 | 応永27 | 三代城主持康は將軍足利義持の一字を賜る。                                                     |
| 1429 | 永享元  | 北畠氏は、南北朝統一の際、天皇の西統迭立(りょうとうてつりつ)の約束を破った北朝に對し兵を挙げたが、木造氏は北朝軍として戦い、両氏の溝が深まる。 |
| 1440 | 永享12 | 四代城主教親の教は將軍足利義教の一字を賜る。                                                   |
| 1447 | 文安4  | 持康、牧城を築き、弟康重を分家させ牧氏を名乗る。                                                 |
| 1477 | 文明9  | 五代城主親方横死。(詳細不明)                                                          |
| 1496 | 明応5  | 六代城主政宗、川方城を築き、次男康親を分家させ、本城を守る砦とする。                                       |
| 1528 | 享禄元  | 七代城主俊茂、木造の古城の移築工事を始める。(享禄3完成)                                            |
| 1540 | 天文9  | 八代城主具康死去、国司北畠晴具の三男が養子に入り、木造具政と号した。                                       |
| 1554 | 天文23 | 九代城主具政入道となり、戸木城に移る。(戸木御所)                                                |
| 1569 | 永禄12 | 織田信長の伊勢侵攻の案内役となり、信長の次男信雄の配下となる。                                          |
| 1582 | 天正10 | 本能寺の変、織田信長死去                                                             |
| 1584 | 天正12 | 秀吉軍、戸木城を攻め、籠城戦となるが、和睦し城を明け渡す。                                            |
| 1586 | 天正14 | 木造氏、信雄領の員弁郡内の田辺城へ移る。                                                     |

(参考:久居市史)

# 1 栄松寺(えいしょうじ)

・山門は 大樹の楕で つくられし  
・一石の 内に刻まる 地藏尊



# 2 川方城跡(かわかたじょうせき)

・城跡の 名残りとなりし 土塁かな  
・牧城は 御殿山と 名をとどめ



# 3 奈良街道(ならかいどう)

・賑わいし 「お陰参り」の 人の列  
・楕大樹 歴史見つめた 500年



# 4 宝樹寺(ほうじゅじ)

・四段の 台座に坐る 菩薩像  
・湿りある 堂の菩薩の 顔やさし



# 5 光明寺(こうみょうじ)

・楽器手に 二十五の菩薩 雲に乗る  
・三地蔵 洪水逃れ 村人と



# 6 物部神社(もののべじんじや)

・都から 斎王群行 通りたり  
・式内社 「山辺の行宮」と 石碑立つ



# 7 引接寺(いんじょうじ)

・割菱門 古文書あまた 学問寺  
・灯笼の 終の住処や キリシタン



# 8 キリシタン灯笼(きりしたんとうろう)

・転々と 流浪の旅や 畑より  
・祈りこめ 密かに灯す 江戸時代



まちかど博物館

なつかし古今乃舎

昭和のレトロな生活雑貨を  
中心に、なつかしの品々を  
展示しています。



☎090-3445-0600(要予約) (館長 伊藤 昇)

# 9 水分神社(みくまりじんじや)

・ここからは 水路三つに 分けられる  
・八兵衛の 顕彰碑に 桜吹雪



# 10 雲出井用水路(くもすゆようすいろ)

・サイホン 原理応用 7200間(13km)  
・測量の ちょうちん並べた 難工事



# 11 木造城跡(こつくりじょうせき)

・木造氏 十代までの 歴史あと  
・夏草や「五輪」「城跡碑」立ち並ぶ



# 12 木造城の土塁(こつくりじょうのどるい)

・元屋敷 残るは土塁と 繁る竹  
・木造の 古城の土塁 そのまに



久居の町を開かれた高通公は文教藩学をすすめました。  
また、自ら「任口」と号し、俳人としても活躍しました。  
これにちなみ、このマップでは、俳句調でルート上の見どころを紹介します。  
詳細は、当会のガイドにお聞きください。

0 50 100 200 300 400 500m  
この地図は、津市遺跡地図(平成23年3月発行)  
を参考に作成しました。

--- 散策ルート(約10km)  
--- 奈良街道  
--- 雲出井(くもすゆ)  
--- 雲出川  
--- 近鉄名古屋線  
--- 中勢バイパス



キャベツ畑 いつのまにやら  
採り終えて